

京都市指定管理施設

2025 年度
西京極総合運動公園北側区域
京都市体育館及び市民スポーツ会館
事業報告書

京都スポーツネットワーク

構成団体

公益財団法人京都市スポーツ協会

美津濃株式会社

イオンディライト株式会社

近建ビル管理株式会社

—目次—

(はじめに)	1
1 事業の実施状況及び施設の利用実績	
(1) 事業の実施状況	1
(2) 施設の利用実績	5
2 経費の収支決算	6
3 建築物及び設備機器等の維持管理	
(1) ファシリティマネジメントによる計画的維持管理	7
(2) データベース等の構築による効率的な維持管理	7
(3) 各種点検の実施	7
4 施設の清掃及び廃棄物処理計画	
(1) 清掃業務	8
(2) 害虫駆除	8
(3) 廃棄物処理	8
5 その他	
(1) 利用者ニーズの把握	8
(2) サービスの提供計画	8
(3) 災害等非常時の危機管理及び防災対応	9
6 管理運営業務の自己評価	9

(はじめに)

当施設群は第 1 期から公益財団法人京都市スポーツ協会を代表団体とした事業体で継続して管理しており、第 5 期指定管理は、第 4 期に引き続きスポーツ総合企業の美津濃株式会社、長年建物・設備の保守管理等業務を担当してきた近建ビル管理株式会社に加え、ファシリティマネジメント業界の全国トップ企業でもあるイオンディライト株式会社の 4 社で共同事業体を構成し、以下 4 つの基本理念をもって当施設群の管理運営に当たりました。

基本理念

- (1) スポーツ振興や競技力向上を支える管理運営
- (2) 利用者の安心・安全・快適を重視した管理運営
- (3) 多様化する利用者のニーズに対応した管理運営
- (4) 施設の特徴を理解し、地域に密着した管理運営

1 事業の実施状況及び施設の利用実績

(1) 事業の実施状況

ア 第 22 回みんなのスポーツフェスタ in 西京極

子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が気軽にスポーツに親しめる機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及・振興に寄与する事業を西京極総合運動公園で開催しました。

【実施日】 2025 年 10 月 11 日（土） 9:30～15:00

【参加人数】 約 7,500 名

会 場	実施内容
SPORTS BASE NISHIKYOGOKU	開会セレモニー ステージパフォーマンス（3X3、ダブルダッチ、ブレイキン、チアリーディング等） エキシビジョンマッチ アーバンスポーツ体験会（3X3、ダブルダッチ、ブレイキン）
京都市体育館	京都サンガ F.C. 親子サッカー体験、フラッグハント体験、体力チェックフェス、住友生命 InBODY 測定会
京都市体育館 2F 多目的スタジオ	フェンシング体験、跳び箱&鉄棒体験
市民スポーツ会館	スポーツ体験ブース（スクエアボッチャ、卓球バレー、ローンボウルズ）
園 路	スポーツ体験ブース（柔道、剣道、弓道、なぎなた、ペタンク、ゲートボール、オリエンテーリング、ホッケー、モルック、ピックルボール、バスケットボール） アーバンスポーツ体験ブース（スケートボード、BMX）

	京都大学ギャングスターズ×日本生命京都支社（アメリカンフットボール体験） インクルーシブ・サイクリング体験、ワールドマスターズゲームズ 2027 関西ブース、落ち葉の堆肥配布ブース、フード&物販コーナー
京都アクアリーナ	スポーツ体験ブース（アーチェリー、ボルダリング）
たけびしスタジアム京都	北スタンド無料開放（京都市中学校総体 駅伝競走の部）

イ お正月施設無料開放

京都市の条例で供用しない日と定められている日を、無料で開放することにより、日頃施設を利用されている市民・団体のほか、地域住民への還元を図ることを目的に実施しました。

【対象施設】 たけびしスタジアム京都

【実施日】 2026 年 1 月 2 日（金）・3 日（土）10:00～16:00

【利用人数】 延べ 1,023 人

ウ 大型映像装置操作サポート事業

専門的な知識が必要となる西京極総合運動公園内の大型映像装置について、専門スタッフを手配し、主催者の円滑な大会運営をサポートできる体制を構築しました。

エ 西京極さくら祭り

桜の開花時期に近隣地域の学区民や公園来園者を対象に交流の場をつくり、公園の活性化と地域に親しまれる公園づくりを目的に実施しました。

【実施日】 2025 年 4 月 5 日（土）11:00～13:00

【会場】 西京極総合運動公園（園路）

【参加人数】 200 人

オ スポーツ教室

園内の各施設及び園路スペースを会場とし、子どもから高齢者まで、様々な市民を対象とするスポーツプログラムを提供し、施設の活性化を図りました。

【主な種目】 バドミントン、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール
フットサル、ダブルダッチ、ブレイキン、ランニング(ナイトラン)、
健康教室(ヨガ他) 等

【参加人数】 延べ 23,508 人

カ スポーツ講座

広く市民を対象に、スポーツに親しむ「きっかけづくり」の事業として、多様な市民のスポーツニーズに応えるプログラムを提供するスポーツ講座を開催しました。

講座名	実施日	場所	参加人数
スポーツコンディショニング講座	5月21日（水） 18：30～20：00	市民スポーツ会館 体育室	53名
ランニング講座 第1部 加齢による女性の体形変化について 第2部 快適に走るための基本的なドリル実践等	10月28日（火） 18：00～20：00	たけびし スタジアム京都	87名
マラソン講座	1月17日（土） 10：00～12：00	たけびし スタジアム京都	82名

キ 落ち葉の堆肥作り

スポーツ施設としての一面だけではなく、緑豊かな公園施設としての面を持ち合わせている当施設の総合管理の一環として、公園内の落ち葉を堆肥としてリサイクルし、参加型スポーツイベント「みんなのスポーツフェスタ in 西京極」において希望者に配布しました。

ク 施設周辺の地域清掃活動の取り組み

施設周辺の美観を保つために、周辺に落ちているゴミを拾う清掃活動を毎月1回実施しました。

ケ 自動販売機の設置

利用者にとって便利な場所に飲料の自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を高め、利用者サービスの向上を図りました。

コ キッチンカーの出店支援

スポーツ団体などが主催する有観客の大会に対し、キッチンカーの出店など大会の盛り上げを支援する取り組みを実施しました。

サ 物品販売及び貸与事業の実施

利用者の利便性を高めるために、競技に必要な物品の販売及び貸与を実施し、サービス向上に努めました。

シ 空きスペースの有効活用

京都市体育館2階多目的室を、健康教室等自主事業の会場として活用しました。

また、たけびしスタジアム京都の会議室の一部を、大会等利用がない日に限り、卓球スタジオとして運営したほか、わかさスタジアム京都の予備室や京都市体育館の倉庫を大規模大会のための物品保管スペースとして有効活用しました。

ス 施設一般開放（みんなのスポーツ広場）

利用率の低い時間帯に個人利用可能な時間帯を設定し、事前登録及び事前申し込み不要での個人利用を可能とし、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを行うため、施設を一般開放しました。

【場 所】京都市体育館 【種 目】バドミントン、バスケットボール

【回 数】12 回 【利用人数】延べ 261 名

セ ホームページ・SNS よるスポーツ情報の発信

当事業体が主催する教室やイベント、また、プロスポーツ団体の情報や貴市の取り組み、各施設の利用方法等について、代表団体である公益財団法人京都市スポーツ協会及び美津濃株式会社のホームページや Facebook、Instagram などに掲載し、施設の利用拡大や活性化につながる広報案内を行いました。

ソ 情報誌「ダッシュ！」の発行

当事業体が主催する教室やイベント、また管理施設で開催される大会情報などについて、代表団体である京都市スポーツ協会の情報誌に掲載し、積極的に情報を発信しました。

タ シェアサイクル事業

西京極総合運動公園利用者及び周辺住民の利便性向上と空きスペースの有効活用を目的として、市民スポーツ会館前にポートを設置し、シェアサイクル貸出を行いました。 【利用実績】 開始件数 1,490 件／返却件数 1,520 件

チ わかさスタジアム京都の AI カメラ貸出事業

民間事業者と連携し、わかさスタジアム京都に撮影・配信用 AI カメラを設置し、大会主催者等が本格的な試合映像を自動撮影、配信可能な環境を提供し、利用者サービスの向上と施設の魅力向上と合わせ、アマチュアスポーツの振興を図りました。

【利用実績】 9 件

ツ たけびしスタジアム京都北スタンド開放・わかさスタジアム京都外野席開放

日ごろ園路を散歩やジョギングでご利用いただいている方に、わかさスタジアム京都で開催されている試合を外野から無料観戦できる機会や、たけびしスタジアム京都で日常管理に携わる天然芝育成管理の様子を見られる機会を提供し、スポーツの持つ幅広い魅力を感じられる機会を提供しました。

【利用実績】 わかさスタジアム京都 81 日開放 延べ 2,250 人利用

(推計) たけびしスタジアム京都 156 日開放 延べ 969 人利用

テ 「SPORTS BASE NISHIKYOGOKU (SBN)」におけるスポーツ活動スペースの提供
 アーバンスポーツの振興に関する連携協定を踏まえ、西京極総合運動公園内にアー
 バンスポーツを中心とした様々なスポーツ活動が可能な施設「SPORTS BASE
 NISHIKYOGOKU」を開設しました。

<オープニングイベント>

【実施日】2025年6月21日(土) 10:00~17:00

【会場】SPORTS BASE NISHIKYOGOKU

【実施内容】オープニングセレモニー

3x3UNITED 2025-2026 SEASON

ダブルダッチワーズ(ソロバトルイベント)

体験会(ダブルダッチ、ブレイキン、3x3、モルック)

【参加人数】約2,000人

<フリースペース利用者>(2025年6月21日から2026年3月31日 推計)

屋内エリア(ダブルダッチ、ブレイキン) 延べ4,600人

屋外エリア(バスケットボール) 延べ19,000人

(2) 施設の利用実績

施設	2023		2024		2025		2026	
	件数	利用率 (%)	件数	利用率 (%)	件数	利用率 (%)	件数	利用率 (%)
たけびしスタジアム京都	158	46.8	155	49.6	135	48.5		
東寺ハウジング フィールド西京極	334	93.9	337	97.0	331	97.8		
たけびし(個人利用)	0		0		0			
東寺(個人利用)	41,536		28,207		48,949			
わかさスタジアム京都	228	68.6	234	70.6	235	68.9		
京都市体育館	466	79.2	510	73.1	(※1)	(※1)		
市民スポーツ会館	3,403	87.7	3,622	89.2	(※1)	(※1)		

(※1) 新予約システムへの移行に伴い、従来の利用件数・利用率の出力が不可能なため、
 システムの機能及び出力方法を確認・調整の上、改めて報告する。

上記の利用実績のほか、平日の学校スポーツ行事の早期受入れ及びスポーツ以外の目
 的での利用要望等にも柔軟に対応し、施設の多目的利用と稼働率向上に取り組みました。

(早期予約制度により受け入れたスポーツ関連の学校行事 5件)

また、たけびしスタジアム京都とわかさスタジアム京都では引き続き広告事業を実施
 しました。

2 経費の収支決算

2025年度			たけびし スタジアム京都	東寺ハウジング フィールド西京極	わかさ スタジアム京都	京都市体育館	市民 スポーツ会館	合計
指定管理 収支	指定管理料	181,189,712	-	-	-	-	-	181,189,712
	利用料金収入	-	52,235,505	17,292,570	54,696,033	82,067,582	17,707,525	223,999,215
	その他収入	-	0	0	0	0	0	0
	指定管理収入合計	181,189,712	52,235,505	17,292,570	54,696,033	82,067,582	17,707,525	405,188,927
	人件費	-	64,327,888	19,002,496	42,013,977	26,427,889	46,008,536	197,780,786
	通信費	-	242,695	34,409	392,256	58,432	218,486	946,278
	備品費・消耗品費	-	6,389,510	736,519	3,819,175	519,230	346,642	11,811,076
	修繕費	-	1,325,039	357,500	2,610,850	2,504,458	636,400	7,434,247
	燃料費・光熱水料費	-	15,837,121	440,067	9,438,388	36,072,199	22,589,417	84,377,192
	保険料・租税公課	-	6,633,390	0	0	25,342	20,840	6,679,572
	外部委託費	-	27,097,328	11,642,444	17,804,468	11,334,796	7,897,604	75,776,640
	その他物件費	-	3,424,019	1,698,626	1,975,934	2,095,968	2,016,700	11,211,247
	指定管理支出合計	0	125,276,990	33,912,061	78,055,048	79,038,314	79,734,625	396,017,038
	指定管理収支	181,189,712	△ 73,041,485	△ 16,619,491	△ 23,359,015	3,029,268	△ 62,027,100	9,171,889
その他 収支	事業収入(その他)	-	7,370,937	0	856,059	47,412,529	4,994,886	60,634,411
	その他収入合計	0	7,370,937	0	856,059	47,412,529	4,994,886	60,634,411
	人件費	-	1,640,029	0	0	2,733,382	1,093,353	5,466,764
	外部委託費	-	7,923,497	0	0	13,205,828	5,282,331	26,411,656
	その他事業経費	-	3,783,623	30,790	1,053,342	12,434,793	4,727,951	22,030,499
	その他支出合計	0	13,347,149	30,790	1,053,342	28,374,003	11,103,635	53,908,919
	その他収支	0	△ 5,976,212	△ 30,790	△ 197,283	19,038,526	△ 6,108,750	6,725,492
	事業収入(物販)	-	4,386,589	1,158,917	4,190,274	5,111,983	1,257,260	16,105,023
	物販収入合計	0	4,386,589	1,158,917	4,190,274	5,111,983	1,257,260	16,105,023
	人件費	-	2,000,451	837,661	2,135,995	928,341	2,640,381	8,542,829
	外部委託費	-	0	0	0	0	0	0
	その他事業経費	-	1,585	7,679	0	452,534	69,112	530,910
	物販支出合計	0	2,002,036	845,340	2,135,995	1,380,875	2,709,493	9,073,739
	物販収支	0	2,384,553	313,577	2,054,279	3,731,108	△ 1,452,233	7,031,284
	収支差額合計	181,189,712	△ 76,633,144	△ 16,336,704	△ 21,502,019	25,798,902	△ 69,588,082	22,928,665

3 建築物及び設備機器等の維持管理

「安心・安全」をモットーとし、利用状況や施設の状況に応じた、適切な施設の維持管理を実施し、施設の管理レベルを高い水準で一定に保つため、他の管理施設との間の連携を密にするとともに、さらなる技術の向上と業務の平準化を図りました。

(1) ファシリティマネジメント による計画的維持管理

合理的で長期的な管理手法を構築して、日常点検や定期メンテナンスの実施に基づく不具合等の早期発見や予防保全を徹底し、ランニングコストの削減や施設の資産価値の向上に徹しました。

(2) データベース等の構築による効率的な維持管理

施設管理台帳、業務仕様、業務実施結果、修繕履歴、エネルギー消費量等の施設管理に関わる情報のデータベースをもとに、予防保全への活用や省エネルギー化を図りました。

(3) 各種点検の実施

全ての利用者に安心・安全を提供するために、施設ごとに必要な日常点検・法定点検・保守点検等を実施しました。

主な修繕・メンテナンス・備品購入実績

たけびしスタジアム京都

競技大会用人工芝 240 m²購入、大型映像装置対応(直流電源装置購入・不点灯修繕等)
音響ミキサー不具合調査・レンタル手配等、天然芝種子購入、陸上競技備品対応(修繕：連発式スタート発信装置、ハードル、ハンマー用サークル、順位表示器等)(購入：風力速報表示盤遠隔操作ケーブル、超音波風速計ケーブル等)

東寺ハウジングフィールド西京極

管理事務所エアコン更新、音響スピーカー更新工事、天然芝種子購入

わかさスタジアム京都

大型電光表示盤用プロセッサ修繕、散水ポンプ修繕、スピードガン動作不良調査、整備車両修繕(スポーツレイキ・コートローラー他)・アタッチメント購入

京都市体育館(かたおかアリーナ京都 ※2025/9/30 迄)

アリーナ床面修繕・一部張替工事、バスケットゴールバックボード交換工事、得点表示システム障害調査及び保守、吸収式冷温水機 RB-1B 用 抽気バルブ修繕

市民スポーツ会館

男子更衣室系統給湯器マルチコントローラー取替修繕、監視カメラ修繕工事

西京極総合運動公園 園路・中央電気室

刈払機・ブロー等の修理及び更新、遊具点検

なお、京都市公契約基本条例に即して、法令上の制限や、専門的な能力を有する者に発注する必要がある場合・その他特別の事情がある場合を除き、京都市内中小企業への発注は 82.7%となった。

4 施設の清掃及び廃棄物処理計画

各種大会利用も多い施設であることから、主催者の利用時間帯が実質的に早朝から深夜に及ぶこともあるため、勤務形態や清掃時間の確保に係るノウハウを生かし、労働基準法及び労働安全衛生法を遵守し、計画的清掃を行いました。また、園路や植樹帯も巡回点検・清掃と低木剪定においては園内の隅々まで目を配り、常に清浄な状態を保ちました。

(1) 清掃業務

ア 日常清掃 常時巡回のうえ、清掃管理を行います。利用者の手指消毒を目的としたアルコール消毒液を各所に設置し、衛生管理に努めました。

イ 定期清掃 日常の清掃では対応できない汚れの除去・ワックス掛けや、大会開催時にしか利用されない観客席やスタンド等の清掃について、週、月、年を区切り定期的に清掃作業を実施しました。

(2) 害虫駆除

ア 全館施工 ネズミや衛生害虫の駆除を行いました。

イ 定期点検調査 ネズミや衛生害虫の防除状態を点検しました。

(3) 廃棄物処理

京都市が定める廃棄物処理方法に則り、分別の徹底やリサイクルの推進を行うとともに、利用者に対して「ごみの持ち帰り」を呼びかけて、ごみの減量・発生抑制につなげました。

5 その他

(1) 利用者ニーズの把握

利用者の満足度向上のために、来園者や施設利用者から多様な意見や要望を広く集め、タイムリーに管理運営へ反映することが重要と考え、多様な聞き取り手段を準備し、きめ細かなサービスの提供に努めました。

- ・施設職員による直接聞き取り
- ・「ご意見箱」の設置
- ・電話やFAX、Eメールによるご意見の受け付け

(2) サービスの提供計画

ア 公平なサービス提供の考え方

当施設は、広く市民が利用できることのほか、各種競技団体が開催する大会等の利用があり、スポーツ振興の観点を大切にしながら、以下の5つを基本としてバランスのとれた質の高いサービスを提供するように努めました。

【基本方針】「サービス」「参加」「活動」「施設提供」「施設利用」の公平性

イ 効率的職員配置

利用者サービスの向上を常に念頭に置いて、有用な人材を適所に、効果的・効率的に配置し、施設を運営しました。また、必要な職員数を確保し、無駄を省いて弾力的に配置しつつ、大会開催時や施設メンテナンス時には職員を重点的に配置しました。

ウ 職員の育成・研修体制

施設の良好な管理運営を行うため、利用者サービスのさらなる向上と危機管理対応、職員の専門的知識向上を図ために各種研修を実施し、管理的知識、スポーツに関する資格取得等により長期的人材の育成に努めました。

【内 容】 普通救命講習、消防訓練、右京テロ対策ネットワーク総会会議
健康運動指導士・健康運動実践指導者登録更新認定講習会、
日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会、
京都府体育・スポーツ施設管理者講習会、個人情報取扱研修、
経理実務講習、スポーツ・インテグリティ向上研修

(3) 災害等非常時の危機管理及び防災対応

ア 施設特性を考慮した防災訓練の実施

万が一の火災・地震の発生やテロ発生時に備え、利用者の安全確保を第一に優先し、迅速かつ的確な指示ができるよう、消防・防災訓練を実施しました。

イ 熱中症の対応について

利用者への水分補給等、熱中症対策についての声掛けや掲示物による注意喚起を積極的に行い、利用者自身の体調管理に関する意識啓発に向け、各施設にも経口補水液を常備することで、より安全なスポーツ・レクリエーション活動をサポートしました。

ウ 雷対策について

屋外施設については、雷警報機(ストライクアラート)を備え、利用者への無料貸出を積極的に行い、安全に施設利用できるようサポートに努めました。

6 管理運営業務の自己評価

各施設の利用は好調を堅持し、設備の自営修繕対応等により経費縮減に取り組んだ結果、指定管理収支は黒字決算で終えることができました。

前年度に引き続き、各施設において教育機関等の行事を受け入れやラグビーリーグワンの誘致を行うなど、利用団体のニーズを捉えた柔軟な施設運営を行うことにより新規顧客の獲得に繋げる事ができました。また天然芝を敷設している3施設については、陸上トラックや内野黒土フィールドなどとあわせて芝を良好に保てるよう維持・管理し、経年劣化が進むその他の施設や設備については、安心・安全の確保の観点から計画的な小修繕をこまめに実施し、利用者が快適に施設を利用できるよう運営に努めました。

次年度も一層の利用者サービスの向上と効率的な管理運営の推進に努めてまいります。